

紫竹学林会通信

2009年12月10日 No.17

2009年度の第25回「紫竹学林会」の会合を以下の要領で開催いたします。今回は、2003年島根県庁に入庁し、観光振興の仕事をしている角俊一氏（第34期生）に『観光地・島根のすがた』というタイトルで講演をお願いすることにしました。

また同日、地理学教室主催の修士論文発表会が「紫竹学林会」の前に開催されます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。なお、同封の出欠確認用紙をご参照のうえ、mail, fax, 郵便等で1月15日までに出席をご連絡くださいますようお願いいたします。（幹事）

修士論文発表会（地理学教室主催）

日時：2010年1月23日（土）14:00～16:10

会場：駒澤大学 大学会館（大学図書館の隣）2F 会議室 2-1

【修士論文発表会】 14:00～16:10（発表20分+質疑10分）

横坂 航：「諏訪湖における御神渡り発生頻度の減少におよぼす都市気候の影響」 14:00～

小林崇人：「新潟市中心部におけるマンション開発と居住者特性」 14:30～

（10分休憩）

中島実咲：「児童の利用特性からみた街区公園の役割 —練馬区を事例に—」 15:10～

豊田 賢：「地方鉄道の経営移管に伴う沿線住民の意識と移動行動の変化
—ひたちなか海浜鉄道を事例に—」 15:40～

紫竹学林会（講演会・総会・懇親会） 16:20～20:30

【講演会】 16:20～17:40（講演会と総会の会場は修士論文発表会と同じ）

講師：

角 俊一氏（島根県庁・第34期, 2002年修士課程修了）：『観光地・島根のすがた』 16:20～

*角氏は、1974年鳥取県生まれ、本学大学院修士課程を2002年に修了後、2003年に島根県庁に入庁、2006年に観光振興策や市場分析の研修のため、(株)リクトに派遣。2007年より、島根県商工労働部観光振興課にて、島根県東部エリア/松江・出雲地区の観光企画を担っておられます。自治体による観光振興の熱い取り組みのお話が聞けると幸いです。

【総会】 17:45～18:00（会員：同会場にて短時間）：2009年度会計報告、幹事改選等

【懇親会】 18:20～20:30

会場：駒澤大学 大学会館3階 会議室3-2、会費：5000円（学部生・院生：2500円）

（どなたでも参加できます。）